

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年8月20日

【評価実施概要】

事業所番号	3870700345		
法人名	社会福祉法人 三善会		
事業所名	グループホームはるか		
所在地	大洲市春賀甲1666-1 (電話) 0893-26-1165		
管理者	上満 佐智子		
評価機関名	特定非営利活動法人 JMACS		
所在地	松山市千舟町六丁目1-3チフネビル501		
訪問調査日	平成20年6月30日	評価確定日	平成20年8月20日

【情報提供票より】 (平成20年5月1日事業所記入)

(1)組織概要			
開設年月日	平成16年5月21日		
ユニット数	1ユニット	利用定員数計	9人
職員数	8人	常勤	7人, 非常勤 1人, 常勤換算 7.5人
(2)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)			
家賃(平均月額)	30,000円	その他の経費(月額)	利用状況により異なる
敷金	有(円) (無)		
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合償却の有無	有 / (無)
食材料費	朝食	220円	昼食 400円
	夕食	380円	おやつ 円
	または1日当たり 円		
(3)利用者の概要 (平成20年5月1日現在)			
利用者人数	9名	男性 4名	女性 5名
要介護1	2名	要介護2	2名
要介護3	3名	要介護4	2名
要介護5	0名	要支援2	0名
年齢	平均 83歳	最低 78歳	最高 91歳
(4)他に事業所として指定等を受けている事業及び加算			
指定 (あり)・なし	指定介護予防認知症対応型共同生活介護		
指定 あり・(なし)	指定認知症対応型通所介護		
届出 あり・(なし)	短期利用共同生活介護		
加算 あり・(なし)	医療連携体制加算		

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

職員それぞれが目的を持って日々取り組めるように、個人目標を立て取り組まれている。
 一人で入浴される方には、椅子の位置等も気を付けて、安全に入浴できるようにされている。窓から外の景色を楽しみながら入浴できるようになっている。
 誕生日には、行きたいところに出かけられるよう支援されている。ご家族の協力を得て、自宅に戻られたり、入院中のご家族のお見舞いに行かれた方もいる。
 運営推進会議では、避難訓練の様子を見ていただき、ご意見をいただいた。又、地域の消防団の方達に来ていただき、避難経路や避難確認の方法についてアドバイスをいただいた。

【質向上への取組状況】

前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
・この一年、利用者個々の誕生日の日に、行きたいところに行ってみることを取り組まれた。
今回の自己評価に対する取組み状況(関連項目:外部4)
・自己評価は職員全員で取組み、1年間の取組みについて、振り返る機会とされた。
運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取組み(関連項目:外部4,5,6)
・運営推進会議では事業所の活動報告をされている。会議後に、利用者とも顔馴染みになっていただけよう、出席者と利用者で交流する時間を作っておられる。
家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
・ご家族には手紙や訪問時に、ご意見を聞くようにされている。家族会で行事を企画・準備していただき、皆でイチゴ狩りやそうめん流しを楽しまれた。
日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
・『だんらん新聞』を地域に配布されている。事業所の行事等もお知らせし、地域の方にボランティアで協力いただいた。近所の方がお花を届けてくださり、利用者とおしゃべりをして帰られたりすることもある。又、地域の盆踊りには事業所も協力をされている。

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

.理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

.サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホーム はるか

(ユニット名) _____

記入者(管理者)

氏名

上満 佐智子

評価完了日

平成 20 年 6 月 15 日

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価)		
			「自分らしく和やかに生きる」という理念の基、今年度の計画として「明るく温かい我が家」をテーマにあげ、地域交流に取り組むこと、職員と話し合っ対応している。		地域の中で、その人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、「地域とのつながり」の理念を考案中。
			(外部評価)		
			事業所の理念に基づき、利用者が地域の方と交流しながら生活できるよう取り組まれている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価)		
			その人にとって大切なことを、常に意識してミーティングを行ない、理念を共有して取り組んでいる。		
			(外部評価)		
			ミーティング時、事業所の理念について話し合っおられる。		
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価)		
			家族会総会にて、ホームの理念を含め、事業計画を報告している。又、地域の方には、手作り新聞にて、理念・取り組み等、お便りを添えて事業所の様子と共に配布している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 職員の勤務時の挨拶や散歩時に利用者と職員が積極的に挨拶をして自然なおつきあいができるよう、職員全員で取り組んでいる。 地域の高齢者の方より、時折り、玄関の花を届けて頂いたり野菜を持ってきて頂いたり、又、血圧を測定に訪問があったりする。		
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 地域の行事（地方祭・盆踊り・文化祭・学校行事）等、利用者と共に、積極的に参加・交流を深めている。新たに地元敬老会にお招きがあり参加する。地域の一員として、地域清掃に協力する。		念願の敬老会参加ができた。 参加された2名の方、地域の方とも親睦をはかり、交流ができた。毎年参加していきたい。
			(外部評価) 『だんらん新聞』を地域に配布されている。事業所の行事等もお知らせし、地域の方にボランティアで協力いただいた。近所の方がお花を届けてくださり、利用者とおしゃべりをして帰られたりすることもある。又、地域の盆踊りには事業所も協力をされている。		事業所では、今後、地域の方達に認知症のことを知っていただけるような取り組みをすすめたいと考えておられた。さらに、地域の方達と利用者、又、ご家族も含めた交流をしていきたいと考えておられる。
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 法人でヘルパー養成講座を開催し、ヘルパー2級の資格取得ができるよう取り組み、地域の高齢者の暮らしがサポートできるよう、人材育成に貢献する。		ヘルパー養成講座にて講師を行ない、高齢者等の暮らしや、家族の理解等について講義を実施する。 さらに認知症について勉強会ができるようにしていきたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 意義や目的をミーティングで伝え、全職員で前向きに取り組む、日頃の点検・見直すことを話し合っている。		運営推進会議にて評価の公表などを報告する。 今後も改善に向けて取り組んでいく。
			(外部評価) 自己評価は職員全員で取り組み、1年間の取り組みについて、振り返る機会とされた。この一年、利用者個々の誕生日の日に、行きたいところに行ってみることを取り組まれた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 構成員より、地域の行事予定を早目に連絡を受け、情報を共有し、意見をサービスの向上に活用している。又、利用者との触れ合いを大切に、季節にて、茶話会・クリスマス会を組み入れて、馴染みの関係づくりをする。		敬老会の案内と、地元消防団視察が実現できた。交流や情報交換・点検をして頂いた。四部落総代さんが、順番に新たに第2回より参加して頂くようになった。意見等を頂き、サービス向上に生かしていきたい。
			(外部評価) 運営推進会議では事業所の活動報告をされている。会議後に、利用者とも顔馴染みになっていただけのよう、出席者と利用者で交流する時間を作っておられる。		
9	6	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価) 地域密着型サービスとして、運営推進会議以外にも、年3～4回、在宅サービス担当者会を開催して頂き、情報交換や制度等、他あらゆる面についても説明を受けている。		
			(外部評価) 介護相談員を受け入れておられ、利用者は、介護相談員とお話されたり、時には、卓球をすることもある。		
10		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価) 研修会に積極的に参加して学ぶ機会をもっている。現在1名成年後見人制度を利用しているので、職員も理解している。必要な方ができれば、関係者と話し合いながら、活用できるように対応していきたい。		
11		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 法人より虐待について、研修をして学んだ。虐待が見過ごされないよう注意を払い、虐待の防止の徹底に努めていきたい。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約時に十分に説明を行ない、同意を得ている。又、事業所でできること、できないことを明確に伝え、家族のトラブルがないよう、事前に説明している。契約前に見学や、体験入所もして頂き、理解・納得も図っている。		契約前に空室を利用して、体験入所をして頂いて入所となった。
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 介護相談員2名が、2ヶ月に1度の訪問があり、相談できる体制となっている。苦情等、意見が出しやすい雰囲気心がけている。 法人全体で苦情委員会を開催し、外部者の方に報告をし、アドバイスを受けている。		
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 家族会総会にて、1年間の生活の様子を、パワーポイントで報告したり、毎月、管理者より手紙にて、暮らしぶり・健康状態等、お知らせしている。その際、こずかい預かり分の出納帳コピーを同封している。又、必要があれば、家族へ随時連絡している。		利用者の暮らしをアルバムに整理し、家族の面会時に見て頂く。 12月の送付分については家族の自己申告の際の必要な領収証等の案内をする。
			(外部評価) 毎月ご家族に送付しているホーム便りには、写真も載せて行事の報告や予定をお知らせしている。		
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 契約書に、外部へ連絡できるように説明し、記載している。家族会があり、利用者や、家族が意見・不満・苦情がだしやすい雰囲気心がけている。「家族の声」が大切であること、職員と話し合っている。		
			(外部評価) ご家族には手紙や訪問時に、ご意見を聞くようにされている。家族会で行事を企画・準備していただき、皆でイチゴ狩りやそうめん流しを楽しまれた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 法人全体の職員会と月一回定期ミーティングを行ない、全体のことについて報告したり、意見を聞いたり、提案があれば話し合う環境をつくる。又、個別に意見等も聞いてスムーズに仕事ができるように心がけている。(報告・連絡・相談)		カンファレンスを毎月実施し、職員の意見・提案を尊重し、業務にいかしている。
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 利用者のニーズや生活時間にあわした勤務体制に組んでいる。緊急時にも対応できるよう遠慮なく、交代できるように、お互い話し合って調整している。		
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 法人内の異動はあったが、今年度4月はGHの異動はなかった。離職等で人員が変わる場合は利用者・家族に不安を与えないようスムーズに対応していきたい。馴染みの関係や信頼関係づくりを大切にしている。		
			(外部評価) この一年間、職員の異動はない。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 法人トップより定期的に計画を立て、職員研修を実施して頂く。法人の基本方針・社会的ルール・マナー・制度について等、幅広くあり、人材育成に努めている。又、外部研修に全職員が参加して頂くようにしている。		研修センターからの研修情報を、職員に提供している。職員より、興味のある研修について自主学習の申し込みをされ、自己研鑽に努めている。
			(外部評価) 職員それぞれが目的を持って日々取り組めるように、個人目標を立て取り組まれている。外部研修にも出席され、知識を深めておられる。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) 運営推進会議構成員として、お互いに訪問して交流を行なっている。 市や協会の研修会や担当者会があり、情報交換している。 担当者会で相互訪問を話し合った。		今年度より提案で、毎月、各事業所の訪問を計画・実施している。地域の同業者と相互の見学・交流をし、情報交換をしていきたい。
			(外部評価) 市内のグループホームでサービス担当者会が行われている。今年度は、市内のグループホームを見学に回ることとなっていた。		
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) 法人全体で親睦会があり、職員の交流を深めることで、ストレス軽減になっている。 職員の日頃の思い等を理解し、相談できるよう環境を整え、対話し人間関係を大切にしている。		
22		向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) 毎月の事業日誌にて運営者に報告したり、又随時、管理者より報・連・相をしている。 職員各自の実績や状況を運営者に報告することで、職員がやりがいを持って働いている。目標管理シートを作成し、各自が向上心を持って働けるよう取り組んでいる。		目標管理シートを作成し、チーム目標・個人目標を立てて、それに向かっての取り組み等、管理者より、個人面接を実施し、意欲等同った。
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 本人・家族が安心して頂けるよう、傾聴・受容し、意向を十分受け止めた上で話し合いを行なっている。本人に受け入れていただけるよう職員との関係作りを大切にしている。また、信頼関係が築けるよう、話し方やト音・目線や表情など、話し易いような雰囲気作りに努めている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 家族の意向・不安などを受け止め、ここでの生活状況を説明し信頼関係を築き、安心した生活が送れるようにしている。		
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) できる事・できない事を明確にし、本人や家族の思いを受け止め、相談に応じている。		相談に来られた方に、地域包括支援センターや他事業所のサービスにつなげる対応をしていきたい。
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 初めはご本人・ご家族に見学に来て頂き、体験入居を行なうなど、安心して生活ができる環境作りをしている。入居されてから落ち着かれない場合には、家族等に面会に来て頂いたり、徐々にGHの環境に慣れていただくなど、ご家族と連携を図りながら本人にとって安心できる場所になるよう支援している。 (外部評価) 入居前には、管理者と職員は、ご本人を訪ね、関係作りをされている。事業所に泊ってみることもできるようになっている。又、入居間もないころは、声かけを多くされたり、見守りに心がけておられる。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 一人ひとりの得意な事・できる事を見つけ、一緒に行える環境作りをしている。行なってもらったことには、感謝の言葉を伝え、お互いに支え合う、良い関係を築いている。 (外部評価) 利用者から、4月8日の花祭にはお釈迦様に甘茶をかけるという、お寺のならわし等も教えてもらうこともある。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 状態報告・相談・意見交換を密に行ない、家族からの情報収集や意向・思いの吸い上げに努めている。又、家族会発足より3年目。職員も家族会行事に積極的に参加し、交流・信頼を深める場となっている。		
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) ご家族は本人にとって一番大切な存在であるという認識を常に持ち、本人の気持ちを考慮しながら対応。必要に応じて面会や外泊等を提案し、本人とご家族のよりよい関係が保てるよう支援している。また面会時には、ご家族とゆっくり関わられるような空間を作り、会話が困難な場合には職員が会話の仲立ちをさせていただいている。		
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 行きつけの理・美容室に通われたり、家族のお見舞いに定期的に行かれたり、家族の協力を得てお墓参りをされる等、各個人の大事な人や場所との交流が継続できる様支援している。また、敬老会の案内を頂き、参加援助も行なった。お誕生日には、自分の行きたい場所への援助(故郷や息子宅等)を提案し、支援中。		
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 職員が利用者と関われる時間をゆったり持てるような業務分担の見直しを行なった上で、利用者1人1人の表情や状態観察をしながら、利用者同士の間によりよい関係が保てるような働き・仲立ちをしている。		
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 現在は亡くなって退所された為、継続的な関わりができなかった。		今後、サービスを終了される場合があっても、退居者・ご家族とも継続的な関わりができる様な関係を築いていきたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
33	14	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)		
			日常のコミュニケーションの中から、本人の意向や思いをくみ取り、記録に落としたりミーティングやケアカンファレンスで話し合ったりし、情報の共有・利用者の思いの実現に向けての検討を行なっている。		
			(外部評価)		
			職員は、利用者個々とのかかわりの中で、ご本人の思いや意向の把握に努めておられる。事業所に所属する看護師が利用者の居室を回り、心配なこと等を聞き取りされている。		
34		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)		
			お誕生日には本人の希望された場所への外出援助を行なっている。生まれ故郷や自宅へ帰ってみたいと希望される事が多く、付き添い援助したことで、より一層の生活環境の把握をする事ができている。無理な引き出しはせず、何気ない日常会話から失礼のない限りで情報を集めている。		
35		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価)		
			利用者状況チェック表（生活一覧）を作成し、毎日記入しながら生活援助を行なう事で、介護員が利用者全員の一日の過ごし方が分かりやすく一覧で見ることができる。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価)		
			毎月、職員ミーティング時にケアカンファレンスを行ない、全職員の意見交換・提案などが活かされている。家族面会時や往診時に、家族やかかりつけ医の意見や相談内容の吸い上げを行ないミーティングまでに各担当が把握。それぞれの意見を含めての検討となっている。		
			(外部評価)		
			年2回、ご家族・ご本人も同席し、日々の支援について相談されている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)		
			モニタリング(3ヶ月に1回)を実施。ご家族・本人・職員参加してのサービス担当者会を定期的開催し、ケアプランの作成・見直しを行なっている。又、毎月ケアカンファレンスを実施し、本人・家族・医師の意向や意見も含めて、新たな計画の情報収集・意見交換を行ない、新たな計画に活かしている。		
			(外部評価)		
			モニタリングの様式に、ご家族からの意見の欄を設けておられる。定期的の見直しと状態変化に応じて随時見直しを行っておられる。		
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)		
			個別にファイルを用意し、状態観察記録はエピソード・医療関係の記録を行なっている。又、利用者状況一覧表で、一日の利用者の方の生活スタイルが一目で把握できるようになっている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)		
			空室がある場合は入居宿泊体験ができるようになっている。本人・家族の状況に応じて、受診・送迎等の必要な支援は柔軟に対応し、個々の満足度を高めるよう努めている。(家族同行困難時は、職員同行にて法人内介護タクシー利用)		
			(外部評価)		
			併設のデイサービスで、機能訓練や口腔体操等をされる方もいる。法人施設の行事ごとに出向かれ、楽しまれている		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 消防署による避難訓練や、地元消防団の視察を受け、協力体制を得られた。 地元の民生委員や介護相談委員が、2ヶ月に1度訪問があり協力しながら支援している。		
41		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 法人内にデイサービス・在宅支援センター等、在宅サービス事業所がある。必要時には介護タクシーを利用し、外出の拡大の支援をしている。		
42		地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 地域包括センターの職員が、2ヶ月に1度訪問があり、常に相談しやすい環境である。 協働して、本人の支援につなげていきたい。		
43	18	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 主治医の往診が2週間に1回あり。状態の変化に応じて受診や往診を依頼している。適切な医療を受けられるよう主治医との連携を密に行なっている。必要に応じて家族同伴の時もある。 (外部評価) いつでも相談できるようになっている。		
44		認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 定期的には2ヶ月に1回・必要時は随時専門医に状態報告、相談に行っている。また必要な場合には受診の援助を行なう事で状態悪化が軽減できるよう早めの対応に心がけている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 主治医と連携を図りいつでも気軽に相談できるようになっている。現場にも正看護師を配置している。また他事業所の看護師にも協力していただいている。		
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 利用者が入院された場合には、担当者をはじめ介護職員が面会に行き、入院時の状態把握に努めている。病院からの退院サマリーで不明な点や留意事項は医療機関への相談を速やかに行うようにしている。		
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 主治医・家族との連携を図り、いざという時に早期対応できるよう早い段階から状態の変化について話し合いをしている。		終末期のあり方についての話し合いについて今後検討が必要と思われる。(症状悪化の時、家族と主治医・GH職員で今後の話し合いを持っている)
			(外部評価) 家族会総会で、看取りや重度化への対応についての指針を伝えられた。事業所で最期を送りたいと希望されるご家族もある。		事業所では、今後の重度化や終末期を見据えて、ご家族、医師との連携等の体制作りや、又、知識・技術を深める取り組みをさらにすすめていきたいと考えておられた。
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 主治医と連携を図りチームとしてに支援に取り組んでいる。GHで対応できる事、できない事(医療行為)は職員ミーティングでも話し合いをもつ事で一人ひとり周知している。家族会でご家族に集まっていた際に、終末期のあり方についての話し合いを試み、ご家族の意見を聞くことができた。		
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 当GHより他施設へ移り住まれる場合、日常生活の状態・ADLの状態など必要事項を書類にする事とし、本人が住み良い生活環境となるよう情報提供に努める。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1.その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
50	20	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価)		
			排泄の誘導・介助や確認・失禁の対応については、不安や羞恥心・プライバシーに配慮している。申し送りについても配慮して行っている。		
			(外部評価)		
			地域に配布される新聞等、利用者の写真の取り扱いについては、ご家族と相談をされている。		この機会に、職員の利用者に対する対応や職員同士の会話等で、配慮が必要な点はないか話し合ってみてはどうだろうか。
51		利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価)		
			利用者のリズムに合わせた声掛けを行ない、意思表示が困難な方には、ジェスチャーや表情・筆談などで、細かな本人の意思を尊重している。		
52	21	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価)		
			個々の体調や生活ペースに配慮し、又、本人の気持ちを尊重した個別性のある支援を行なっている。		
			(外部評価)		
			起床時間の早い方や遅めの方等、それぞれに対応されている。食後に喫煙場所でたばこを吸っておられる方がうかがえた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 利用者に合わせ、理・美容室の利用の支援を行なっている。また、ホーム内で気軽におしゃれができるよう出張美容サービスを利用している。常に清潔を心がけ、身だしなみ等細かな支援を行なっている。		
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 食事中混乱する方や一気に食事して誤嚥の危険がある方がおり、職員が側で食事を共にしてさりげなく目配りサポートして、食事がゆったりと楽しめるように心がけている。また、利用者と一緒に準備・片付けを行なっている。 (外部評価) 時には、昼食をお弁当にして外で食事をされることもある。食事の席については、利用者それぞれの状態に合わせておられた。		職員は、利用者に教えてもらいながら、季節のお菓子を作ることを計画されていた。
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 本人の体調も考え、食後の喫煙・夕食時の晩酌など楽しめるよう支援している。好きなおやつなど一緒に買い物に行ったり、また利用者から依頼があった場合には職員が代わりに購入し、常備している。		
56		気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 個々の排泄パターンを把握し、自立に向けた支援を行なっている。また、安心して排泄ができるよう環境作りに努めている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)		
			入浴希望の方は毎日入浴している。入浴が好きでない方には無理な声掛けはせず、声かけや対応の工夫等を行なって気持ちよく入浴できるよう努めている。		
			(外部評価)		
			ひとりで入浴される方には、椅子の位置等も気を付けて、安全に入浴できるようにされている。窓から外の景色を楽しみながら入浴できるようになっている。		
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
			体調不良や足の浮腫がある方には声掛けをし、ベッドで足を高く上げて休んでいただく等の支援をしている。日中はレクリエーション活動や本人の興味がある事や好きな活動をしていただき生活のリズムを作り安眠に繋げている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)		
			得意分野で一人ひとりの力を発揮できるよう、個々の得意な分野や好きな事を活かした役割をしていただいている。仕事を頼んだ場合には感謝の気持ちを伝え本人のやる気に繋げていけるよう努めている。外出や地域行事への参加など楽しみな事を利用者と共に感じられるよう支援している。		
			(外部評価)		
			洗濯物の取り込みや洗濯たたみ・庭の手入れをされる方もおられる。調査訪問時、居間で風船バレーを楽しまれていた。		
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)		
			自分の財布からお金を出したり、小額を手元に持たれていることでの安心感や満足感に配慮している。家族よりお金を預かり事務所で管理している利用者でも外出や行事などではお金を手渡し、自分で支払いをして頂くなどの工夫をしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			本人の希望や天気に応じ、気分転換を図れるように日常的な散歩、買い物あるいはドライブ等に出かけている。一人ひとりの習慣や楽しみ事に合わせて外出を企画し、ストレス発散・四季を感じてもらっている。		
			(外部評価)		
			誕生日には、行きたいところに出かけられるよう支援されている。ご家族の協力を得て、自宅に戻られたり、入院中のご家族のお見舞いに行かれた方もいる。		
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			本人が行きたいと思う遠くの場所や地域交流、行事参加等は、あらかじめ計画を立て職員の勤務を調節する等しながら行っている。場合によっては家族に協力を依頼する事もある。また、家族会で計画して年1回外出している。		
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			家族や友人等に電話をしやすい雰囲気作りや職員からの声かけを行なっている。また会話が他の利用者聞こえないよう事務所で利用してもらっている。年賀状や暑中見舞い、お礼状など手紙を出す為の支援を行ない、利用者の思いを汲み取り支援している。		
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			家族はもちろん、友人知人の方々にも気軽に来やすい雰囲気づくりを心がけている。訪問時間は決めておらず都合の良い時間に訪ねて来て頂けるよう配慮している。他の利用者に気兼ねなく過ごしてもらえよう居室等にさりげなく誘導し居心地の良い空間作りを心がけている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 職員全員、身体拘束について理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。		今後も身体拘束や虐待について理解が得られるように取り組みたい。
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 玄関に感知式のセンサーを設置しているが、利用者が外出されそうな様子を察知したら、止めるのではなく、さりげなく声を掛けたり、一緒に同行する等、安全面に配慮しながら、鍵をかけない自由な暮らしを支えるようにしている。 (外部評価) 玄関は鍵を掛けず、出かけられる方には職員がそっと見守り、付き添っておられる。		
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 職員は利用者と同じ空間で記録などの事務作業を行ないながら、さりげなく全員の状況を把握するよう努めている。日中は2～3時間毎に、夜間は1時間毎に利用者の状態確認を行なっている。又、夜間起きられた際は、すぐに対応できるように努めている。		
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 全て取り除くようなことはなく、利用者の状況の変化によっては注意を促していくなど、ケースに応じた対応をしている。		
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 日々のヒヤリハットを記録し、職員の共有の認識を図っている。万が一の事故が発生した場合には、速やかに事故報告書を作成し、事故原因の今後の予防対策について検討し、家族への説明を行なうようにしている。日頃より、一人ひとりの状態から、事故を未然に防ぐ為の工夫に取り組んでいる。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 緊急事態のマニュアルがあり、全ての職員が把握できており、対応することができる。また、母体施設を中心に全体でも、行政関係者・消防署の協力を得て、救急手当てや蘇生技術の研修を実施し、全ての職員が対応できるようにしている。		今年度より、母体施設にAEDを設置し、施設だけでなく、地域の方への呼びかけを行なっている。
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 2ヶ月に1回利用者と共に避難訓練を実施している。また、自動通報装置を設置しており、速やかな対応に努めている。実施することにマニュアルの見直しを行ない、より良いマニュアル作成に取り組んでいる。また、消防署の協力を得て、訓練について定期的に指導して頂いており、法人全体の協力も得ている。 (外部評価) 運営推進会議では、避難訓練の様子を見ていただき、ご意見をいただいた。又、地域の消防団の方達に来ていただき、避難経路や避難確認の方法についてアドバイスをいただいた。		昨年からの課題としていた地域の協力体制については、運営推進会議にて民生委員さんより、地元消防団の方に声を掛けて頂き、施設の視察に来て頂くことができた。施設を知って頂くことができ、交流することができた。災害時の細かな手順の確認・避難の指導等をして頂き、協力して頂けるようになった。
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) 本人の意思を尊重した様々な役割・活動を提供している。本人が望む生活ができるよう、家族の方へ事業所の取り組みを適時、丁寧に説明し、理解が得られるように努めている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 毎朝のミーティングで利用者全員の情報を確認し合う。全利用者のバイタルチェックを行ない、その際に体調等も伺い状態の把握に努めている。気になることがあればすぐに主治医と連絡を取り指示を仰ぐようにしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 服薬一覧表を作成し、いつ何を飲まれているのかが一目でわかるようにしている。また目的や副作用等が記載されている用紙がある。職員の申し送りでも確認している。症状の変化にも留意し、主治医との連携を取りながら本人に合った服薬・調節を行っている。		
75		便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 便秘予防の為、ふかし芋やバナナ・牛乳等をおやつに多く取り入れている。栄養士による献立表作成により、バランスのとれた食事を提供することができる。レクリエーションに健康体操をしている。		レクリエーションにも腹筋・背筋・屈伸運動等を取り入れることで便秘の予防に努めていきたい。
76		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 食後の歯磨きの声掛けは行なっているが、朝・昼の口腔ケアは実施される方が決まっており、習慣づける事ができた方と困難な方がおられる。うがいも困難な方は水分補給をして頂く事で口腔内に残碎物が残らないよう努めている。(義歯洗浄週一回実施)		うがいだけでもしていただけるように支援していきたい。習慣化できてない方への意識づけがもっとできるよう食後の声掛けを徹底していきたい。
77	28	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 栄養士による献立表の作成により、栄養のバランスのとれた食事が摂取できている。また水分補給も個々の好みに合わせた物を提供することで水分量が確保できるよう努めている。食べる量・水分摂取量についてその都度確認している。		
			(外部評価) 夜間も水分摂取できるよう、水筒を居室に準備されている。食事には、季節のものを採り入れるよう心掛けておられる。		
78		感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	(自己評価) 全員インフルエンザの予防接種を行なっている。職員の体調不良時は速やかに勤務調節を行い、休みが取れるような体勢を整えている。利用者の方が外泊された場合、体調の変化・生活で変わった様子等を家族から情報収集し、異変時の早期発見・対応が出来るよう努めている。手洗い・うがいの励行。		食前の手洗いの声掛けが徹底できるようになった。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) 食材は毎日新鮮な物を届けて頂く。日付を記入することで残り物の鮮度も理解しやすく、冷凍・処分など速やかに対応している。 食器類は熱湯消毒し、ふきん・台拭きは漂白することで食中毒予防に努めている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
80		安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 玄関前には、季節の花を飾り、玄関内にも近所の方より頂いた手作りのかごに生け花を生け、明るい玄関にしている。		
81	29	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 季節の花をテーブル・洗面台等に生け季節を感じて頂けるような雰囲気づくりをしている。また、中庭にスペースがあり室内からも季節を感じれるような造りになっている。カレンダーや行事案内を掲示し、利用者にはわかりやすいように工夫している。 (外部評価) 地域の方からいただいたお花が玄関に飾られていた。日めくりカレンダーには、その月を大きく表示し、わかりやすくされていた。新聞や雑誌等もすぐに手に取れるようにされていた。		利用者個々の心地よい空間づくりに向けて工夫していきたい。
82		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) 玄関や談話コーナー等、建物の一画一画に椅子を置き、誰でも休める空間を作り、一人でゆったりと過ごしたり、仲の良い者同士で過ごすことができるようにしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			本人の馴染みの物・必要とする物を持って来て頂き、居心地が良く不安を与えない居室作りに配慮している。		
			(外部評価)		
			仏壇にお花を供えておられた。誕生日プレゼントの職員からの寄せ書きメッセージや、ご自分やご家族の写真を飾っておられた。		
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)		
			適時、換気を行ない外気との温度差がある時には利用者の様子と温度計を見て調節している。 トイレ・居室の臭い等は、換気扇や消臭剤を使用し、残飯や汚物は速やかに処理し悪臭が出ないようにしている。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)		
			利用者の状態に合わせて、ベッドの高さや手すり等は調節し、浴室やトイレ・廊下などの手すりの配置・居室環境が適しているか見直し安全確保と自立への配慮を行っている。		
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)		
			本人にとって「何が分かり難いか」「どうしたら本人の力でできるのか」を追求し環境整備に努めている。状態が変わり新たな混乱や失敗が生じた場合はその都度、職員一同で話し合い本人の不安材料を取り除き、力を取り戻せる環境作りができるよう試みている。		
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんで、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			裏庭には、散歩や屋外食事ができるスペースがあり、洗濯物干しを置いたり、外周には畑・園芸も行なっている。また、中庭のスペースを活かし、お茶等楽しんでいる。		

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ② 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	タバコが好きな方・お酒が飲みたい方・みかんが好きな方・コーヒーが好きな方、必要以上にお菓子の要求がある方など、要望や意向は様々であるが、安全・健康を管理した上で利用者の要望に沿える支援ができるよう努めている。
89	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ① 毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	一日の職員の業務一覧を明確にする事で利用者職員がゆったりと関われる時間を確保できている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	本人の生活パターン・個人のペースで暮らせるよう援助している。本人の状況把握をしていることで入居者のペースを保つことができる。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	日常生活援助の中でイキイキした表情や姿が見られた一面を写真に収めるよう努めている。限られたご家族面会時にはなかなか見られない表情も、日常で職員が撮った写真をアルバムに綴り、ご家族へも見て頂いている。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	ショッピング・外出行事を計画し、ほぼ全ての入居者が外出できるよう企画・実施している。意思疎通困難な方は、職員が考慮した上でのドライブ外出や屋外食事等を実施している。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている (自己評価) ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	毎朝、バイタル測定を実施し、体調の変化・健康管理に留意している。体調の変化が見受けられる場合は、かかりつけ医への連絡を速やかに行い、報告・相談。指示を仰ぐよう努めている。2週間に1回の往診がある。毎月体重測定も実施している。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (自己評価) ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	個人の状態把握に努め、1人1人に合った支援を心掛けている。安心して生活できる様、職員間での情報交換や申し送りは毎日欠かさず行なっている。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (自己評価) ② 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	ご家族の面会時には、状態報告・日常の様子報告(アルバム使用)をするようにしている。また、必要に応じての電話連絡に努めている。家族会行事には職員も積極的に参加し、信頼が深めれるよう取り組んでいる。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ② 数日に1回程度 3 たまに 4 ほとんどない	お花を持って来ていただいたり、手作り笛や駒を持って来ていただいたり、普通に血圧を測りに来られたりと、自然に外部の方の訪問が増えてきた。

項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	(自己評価) ①大いに増えている 2 少しずつ増えている 3 あまり増えていない 4 全くいない	敬老会のお誘いをいただいたり地域消防団とのパイプ役をしていただいたりし、つながりが著しく拡大している。
98 職員は、生き活きと働けている	(自己評価) ①ほぼ全ての職員が 2 職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	馴れ合いではなく、お互いにより刺激を与え合い、充実した仕事ができている。
99 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	(自己評価) ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	日々の生活の中で笑顔は多く見られているが、個人の満足度には個人差がある。
100 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	(自己評価) ①ほぼ全ての家族等が 2 家族等の2/3くらいが 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	家族会の集まりやモニタリング評価時など、ご家族のご意見や評価を受けるにあたり、サービスに関してのご理解をしていただいているようである。疑問やご意見があった場合には随時対応させていただいている。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

・毎月、行事や日常の様子などの写真とコメントを掲載した「だんらん新聞」を作成し、地域・各事業所に発行している。
 ・お誕生日外出を事業計画に取り入れ、各個人の行きたいところへの外出援助を行なっている。